



2006年度決算説明会

2007年5月8日

積水化成品工業株式会社
証券コード(4228)

2006年度決算概要

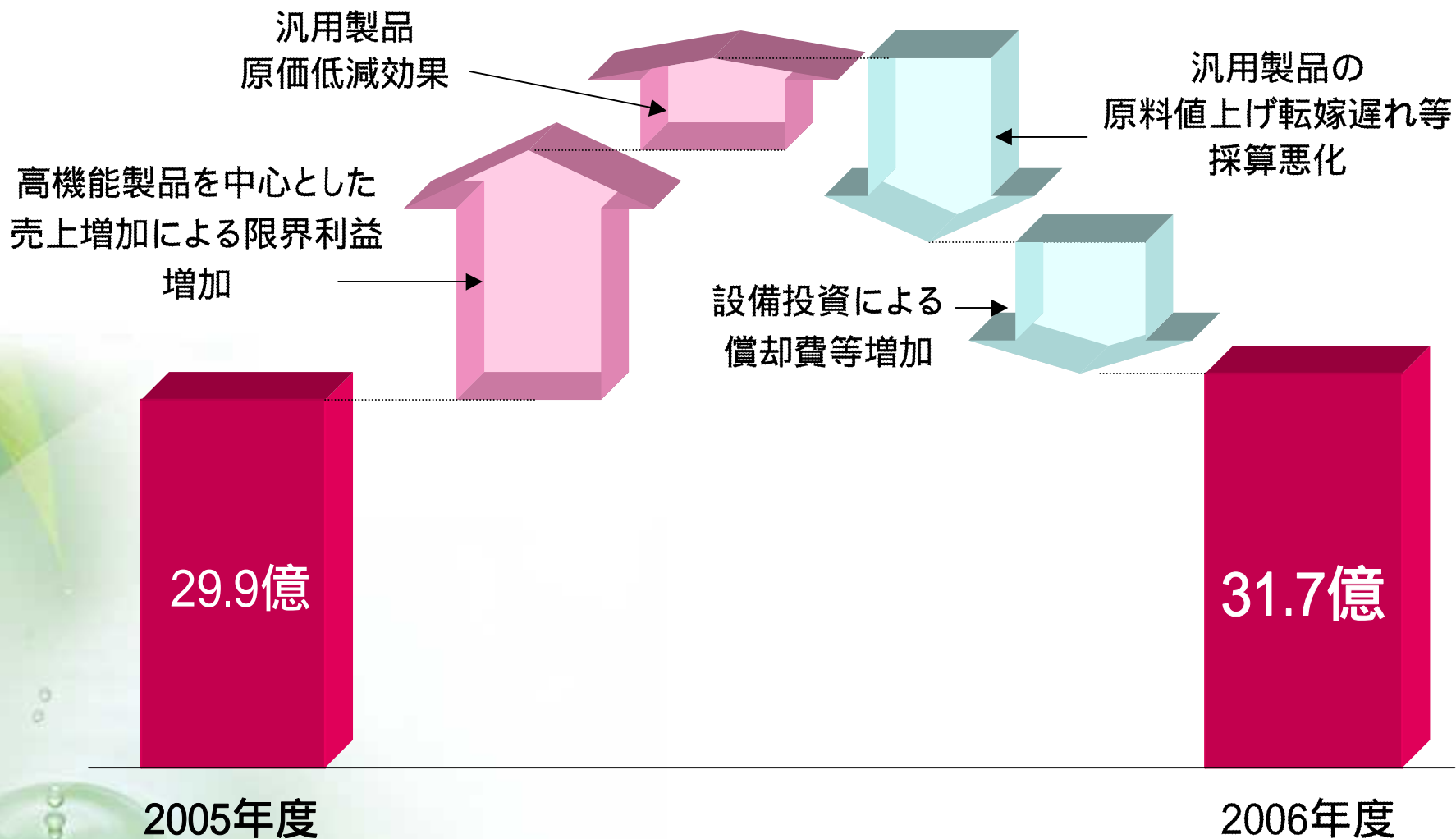
単位: 百万円

	2005年度 実績	2006年度		前期比	計画比
		修正計画	実績		
売上高	89,254	94,900	94,896	+6.3%	0.0%
営業利益	2,992	3,600	3,174	+6.1%	11.8%
経常利益	3,049	3,450	2,924	4.1%	15.2%
当期純利益	1,800	2,060	1,868	+3.8%	9.3%

	2005年度 実績	2006年度 実績
1株当たり当期純利益 (円)	17.71	18.92
自己資本当期純利益率 (ROE)	4.0%	4.0%
総資産経常利益率 (ROA)	3.4%	3.1%
売上高営業利益率	3.4%	3.3%

売上高は過去最高
(1997年度 94,830百万円)

営業利益増減要因



セグメント別業績概要 樹脂事業

単位: 百万円

樹脂事業	2005年度	2006年度		前期比	計画比
	実績	修正計画	実績		
売上高	32,551	36,900	37,579	+15.4%	+1.8%
営業利益	1,415	1,850	1,728	+22.1%	6.6%

「エスレンビーズ」 売上増加も、原料値上げの製品価格転嫁遅れ
 「ピオセラン」 自動車部材・部品梱包材、デジタル家電梱包材が好調
 「テクポリマー」「テクノゲル」も順調
 海外子会社の収益拡大

セグメント別業績概要 シート事業

単位: 百万円

シート事業	2005年度	2006年度		前期比	計画比
	実績	修正計画	実績		
売上高	42,067	43,500	42,589	+1.2%	2.1%
営業利益	1,735	1,810	1,550	10.7%	14.4%

「エスレンシート」 売上増加も、原料値上げの製品価格転嫁遅れ
 「ラミネートシート」 暖冬の影響でカップめん容器向け不振
 関係会社が業界競争激化で収益悪化

セグメント別業績概要 建材事業・その他事業

単位:百万円

建材事業	2005年度 実績	2006年度		前期比	計画比
		修正計画	実績		
売上高	9,608	9,700	9,992	+4.0%	+3.0%
営業利益	244	190	202	+42百万円	12百万円

固定費は削減するも、原料値上げの製品価格転嫁遅れ

その他事業	2005年度 実績	2006年度		前期比	計画比
		修正計画	実績		
売上高	5,027	4,800	4,734	5.8%	1.4%
営業利益	83	130	99	+20.2%	23.2%

パルプ容器関連が好調、「アパミクロン」が減少

貸借対照表・株主資本変動計算書の概要

連結貸借対照表

単位:百万円

	2006/3	2007/3	増減
資産の部合計	91,900	94,869	+2,969
現金及び預金	5,570	6,328	+757
受取手形及び売掛金	24,915	25,272	+356
たな卸資産	7,141	8,183	+1,041
有形固定資産	38,414	39,101	+686
投資有価証券	11,388	11,665	+276
繰延税金資産	1,612	1,337	274
その他	2,860	2,983	+123

	2006/3	2007/3	増減
負債の部合計	44,550	46,682	+2,131
支払手形及び買掛金	13,797	16,840	+3,043
有利子負債	12,441	11,298	1,143
退職給付引当金	4,238	3,644	594
その他	14,074	14,900	+826
純資産合計	47,349	48,186	+837

自己資本比率	50.5%	49.9%
1株あたり純資産(円)	468.83	481.19

連結株主資本等変動計算書

単位:百万円

	2006年度
期首純資産	47,349
剰余金の配当	742
当期純利益	1,868
自己株式の取得	200
その他	89
期末純資産	48,186

自己株式
取得 2006/11 50万株
消却 2006/8 200万株

キャッシュ・フロー計算書、設備投資の概要

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2005年度	2006年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,308	8,210	+3,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,625	5,397	1,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	334	2,120	1,786
現金及び現金同等物の期末残高	5,208	6,089	+881

設備投資の状況

単位:百万円

	2005年度	2006年度
設備投資	5,568	4,293
減価償却費	3,250	3,720

< 主な設備投資 >

- ・ピオセラン米国工場建設
- ・ピオセラン台湾工場プラント新設 など

中期経営計画

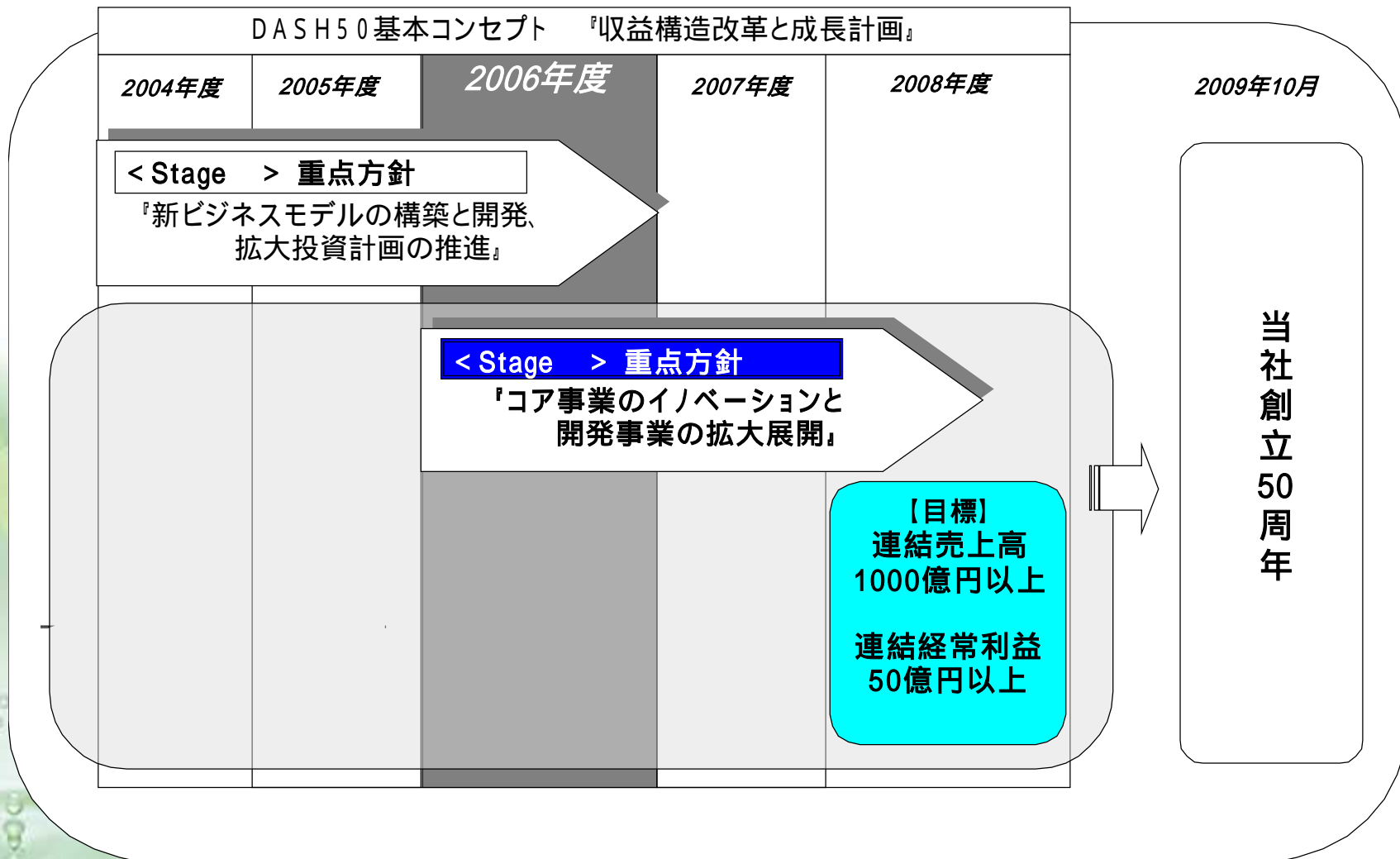
「DASH50 Stage」

(2006～2008年度)

進捗状況



【DASH50 Stage】基本コンセプト



【DASH50 Stage】重点課題

DASH 50 Stage

<コンセプト> 収益構造改革と成長計画
～コア事業のイノベーションと開発事業の拡大展開～

【重点課題】

1. 発泡プラスチック事業のイノベーション
既存事業の事業力強化
高機能発泡材料の事業拡大
環境対応事業の拡大
2. 高機能材料事業の拡大
テクポリマー・テクノゲルの事業拡大
3. 新事業の育成と立ち上げ

【DASH50 Stage】2006年度の総括

【第4四半期が計画未達】

主要原料価格が年明けも上昇傾向、関係会社の価格転嫁不調
暖冬、IT関連在庫調整の影響で売上不振

2006年度四半期別売上高・営業利益

(単位:億円)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	計画	217.5	238.0	256.8	236.0
	実績	217.2	239.2	261.4	231.2
	差異	-0.3	+1.2	+4.6	-4.8
営業利益	計画	3.9	9.4	14.0	9.8
	実績	5.2	7.1	13.4	6.0
	差異	+1.3	-2.3	-0.6	-3.8

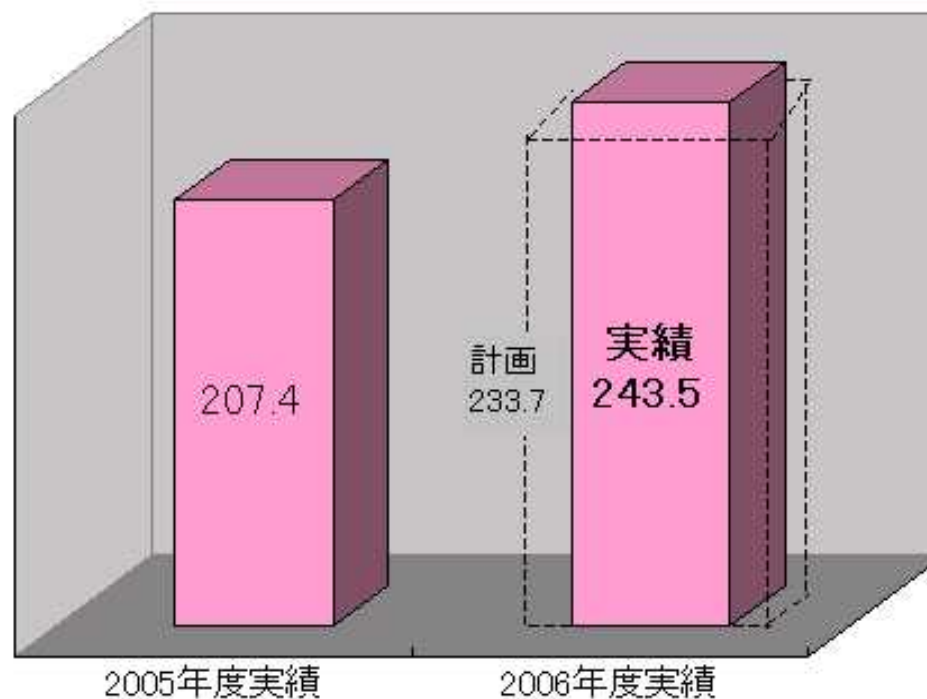
第1～2四半期は年度計画、第3～4四半期は下期修正計画

【DASH50 Stage】2006年度の総括

【高機能製品が好調に推移】

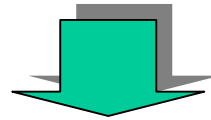
ピオセラン、テクポリマーなどが自動車・デジタル家電向け中心に、国内外で収益拡大

高機能製品の売上高



【DASH50 Stage】2007年度の施策

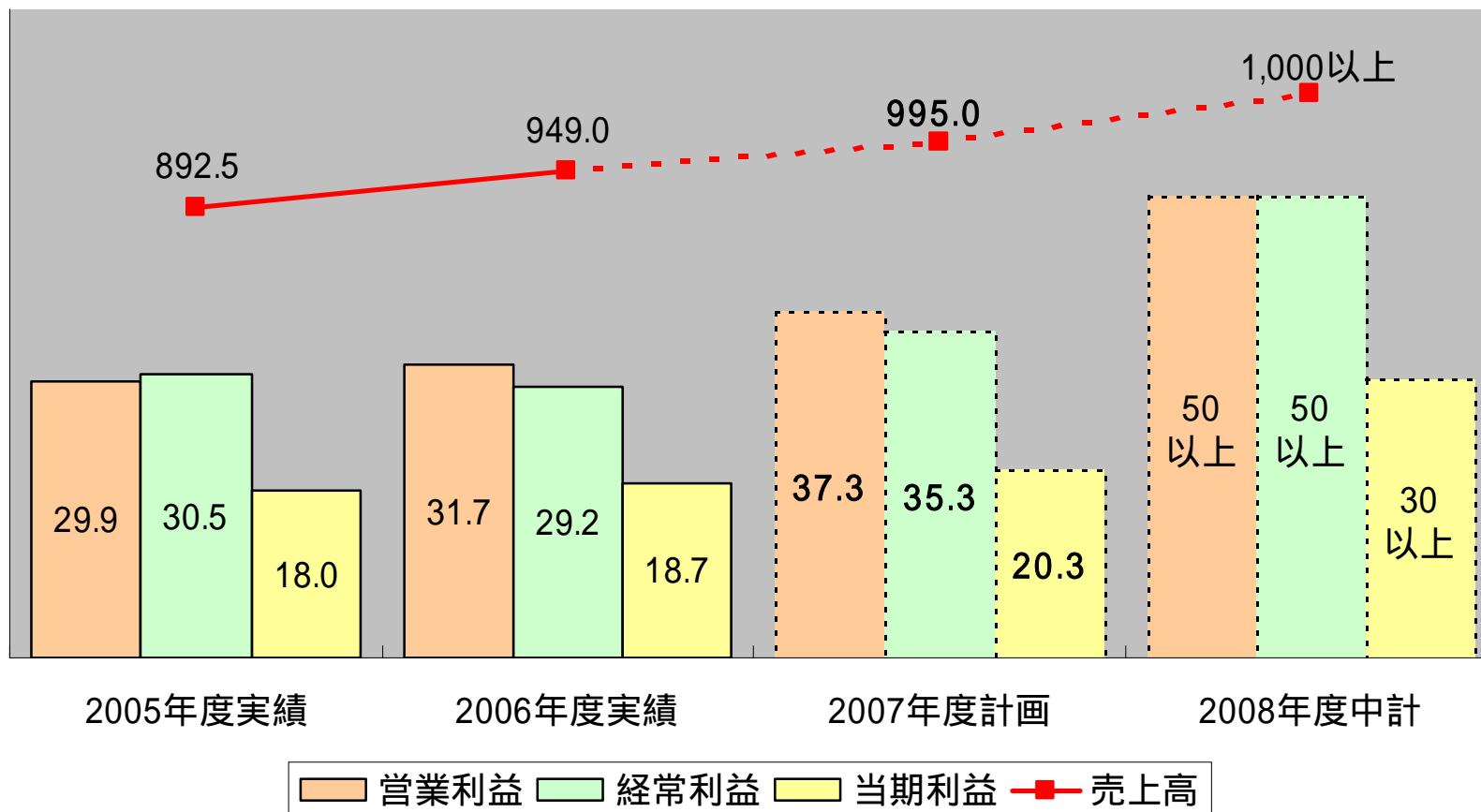
2008年度収益目標達成に向けた基盤確立



- ・高機能発泡製品のグローバル体制確立と生産プロセス革新
 - ・高機能材料の成長分野積極拡販と新規分野展開
 - ・環境対応事業の新用途開発による拡大
 - ・生産部門のコスト競争力強化、現場力強化
 - ・研究開発テーマの事業化推進
- (
- ・内部統制・コンプライアンス体制の充実化
 - ・創立50周年以降の長期ビジョン作り
-)

【DASH50 Stage】収益計画

単位：億円

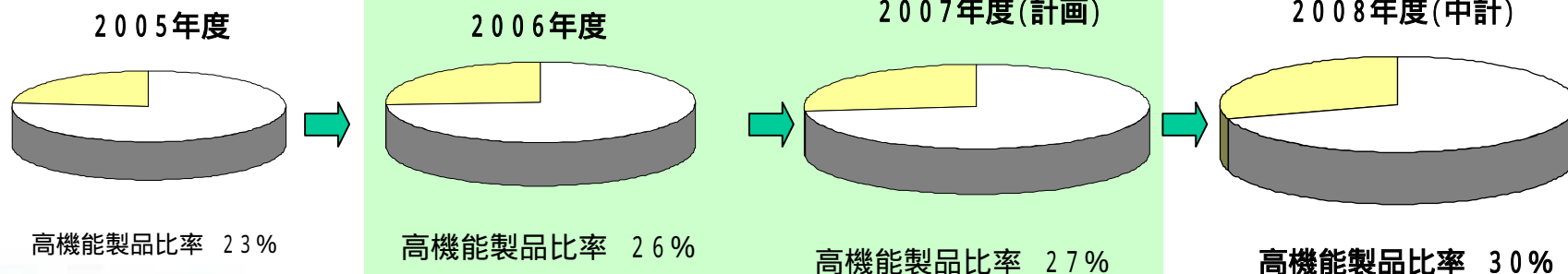


【DASH50 Stage】 事業ポートフォリオ変革

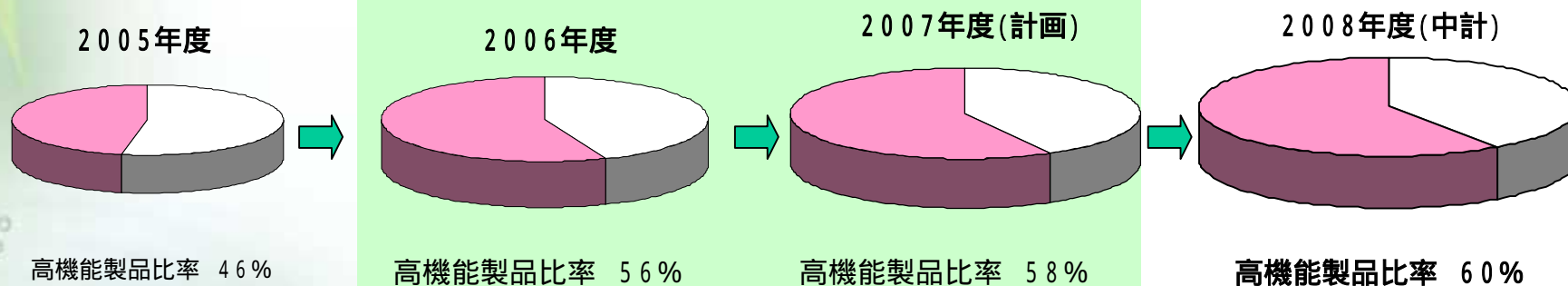
高機能製品の成長による事業ポートフォリオ変革

...成長市場と海外拡販で高機能製品の比率向上

売上高



営業利益

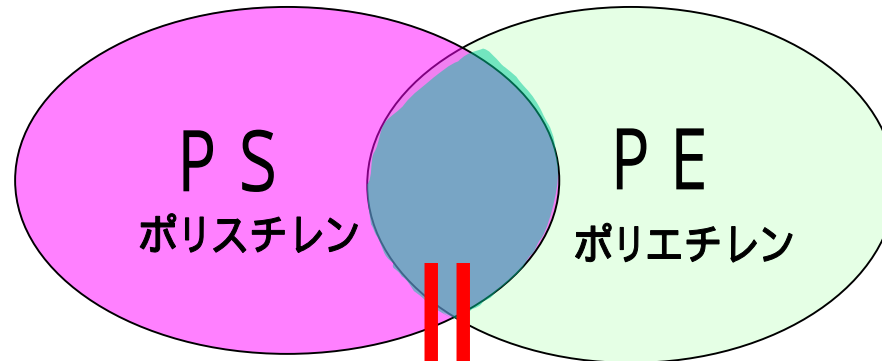


【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

ピオセラン

...ポリスチレンとポリエチレンを組み合わせた当社独自の複合樹脂発泡品

剛性に優れる
高発泡化しやすい
断熱性に優れる



耐衝撃性に優れる
耐薬品性に優れる
耐磨耗性に優れる

当社の成形・加工技術

車体軽量化

搭乗者保護

自動車部材

機器大型化
精密化

グローバル輸送

デジタル家電緩衝材

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大



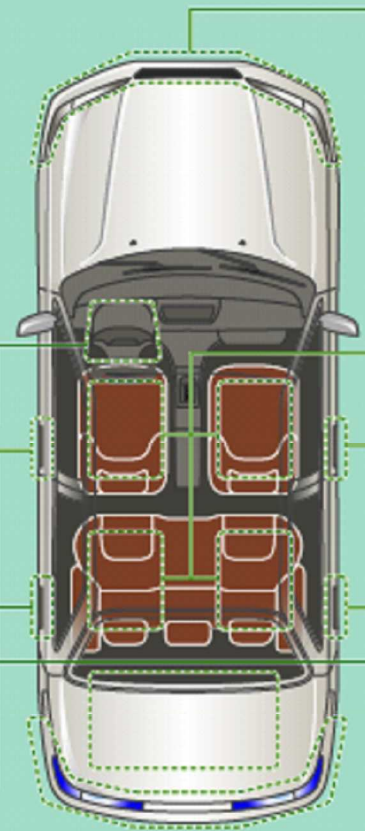
自動車部材



下肢部衝撃吸収材



ドアパッド



バンパーコア



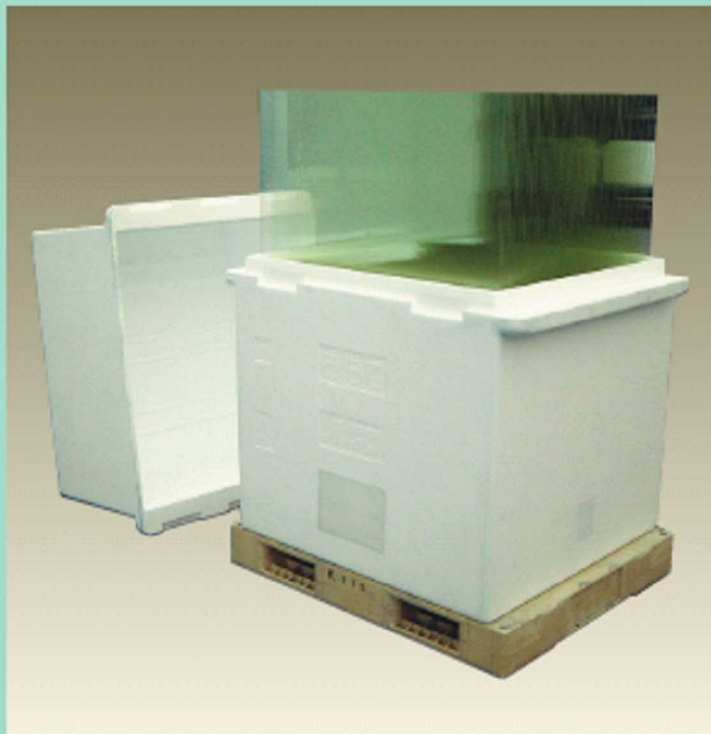
嵩上げ材



【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大



デジタル家電等梱包・緩衝材



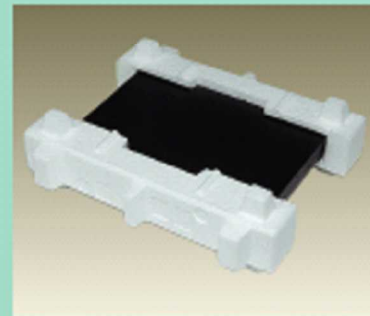
薄型TV大型ガラス搬送容器



薄型TV完成品梱包



液晶セル搬送容器



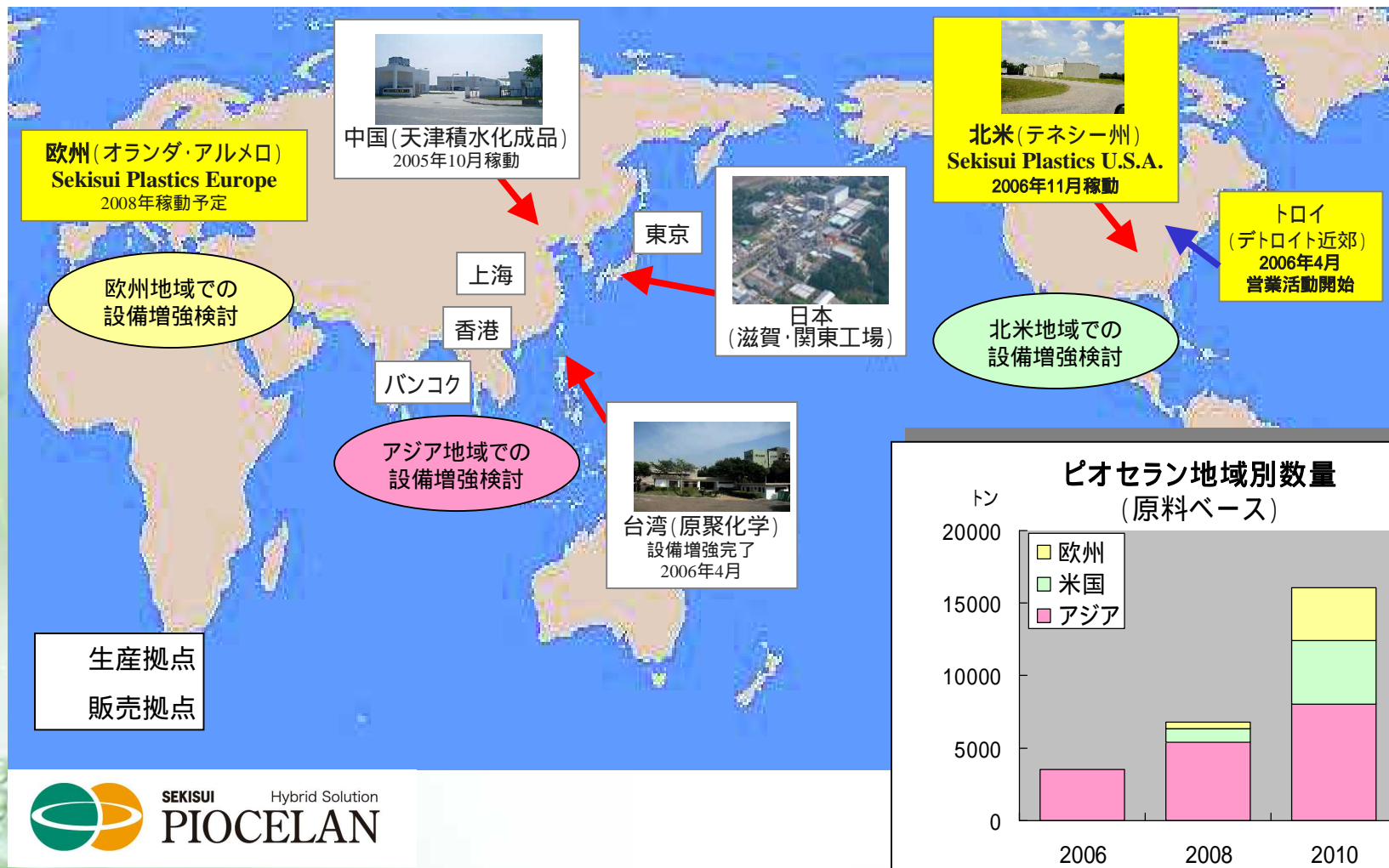
ノートパソコン緩衝梱包



自動車部品緩衝梱包

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

ピオセラン供給拠点の構築を加速 (2010年度 年産1万6千トン体制目指す 自動車・IT関連メーカー)

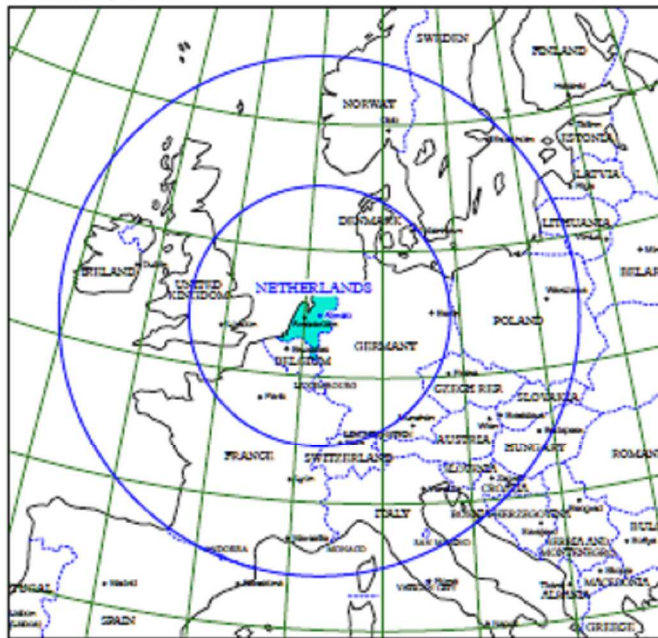


【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

Sekisui Plastics Europe B.V. の概要

- ・会社設立 2007年5月 生産開始予定 2008年初旬
- ・生産能力 1,800ト/年
- ・販売計画 2010年度 11億円

EUROPE



【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

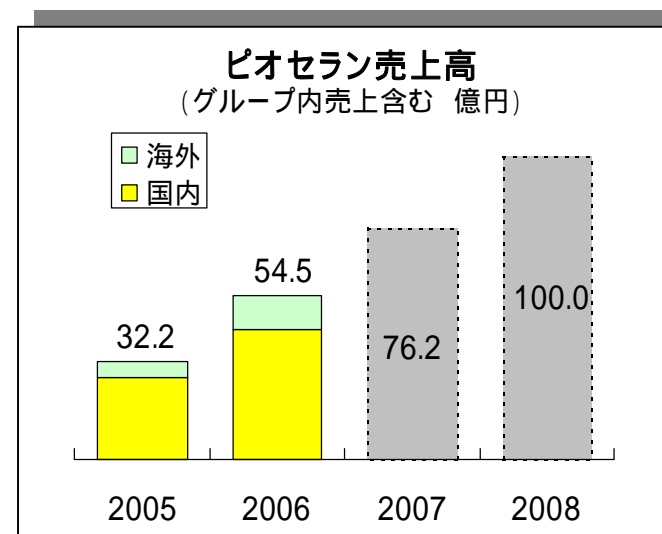


【2006年度の成果】

「レクサス」バンパーコア、「カローラ」下肢部衝撃吸収材等、
自動車部材大型案件立ち上げにより売上大幅増加
大型ガラス容器、セル搬送容器が本格的に売上寄与、
自動車部品輸送梱包材も大口受注が貢献
需要旺盛により、グローバル物流費が増加

【今後の取り組み】

需要に対応したグローバル生産販売体制
の早期構築
(物流体制構築、生産プロセス革新、
グローバル人材育成)



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

テクポリマー

当社独自の重合技術から生まれた有機微粒子ポリマー



塗料用途 (艶消し効果)

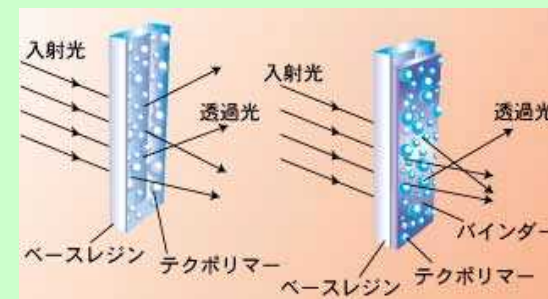


化粧品用途 (しわ隠し、滑り性、触感改良)



光拡散用途

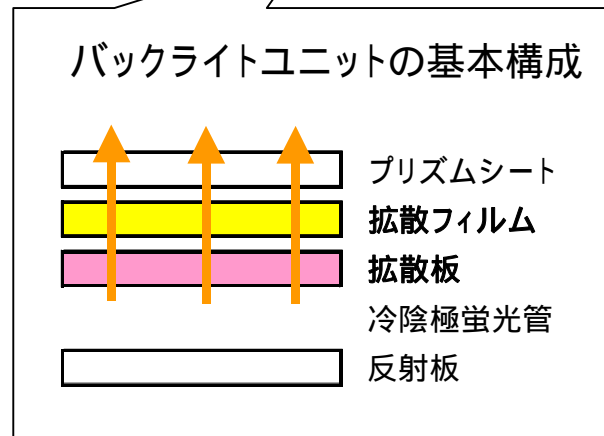
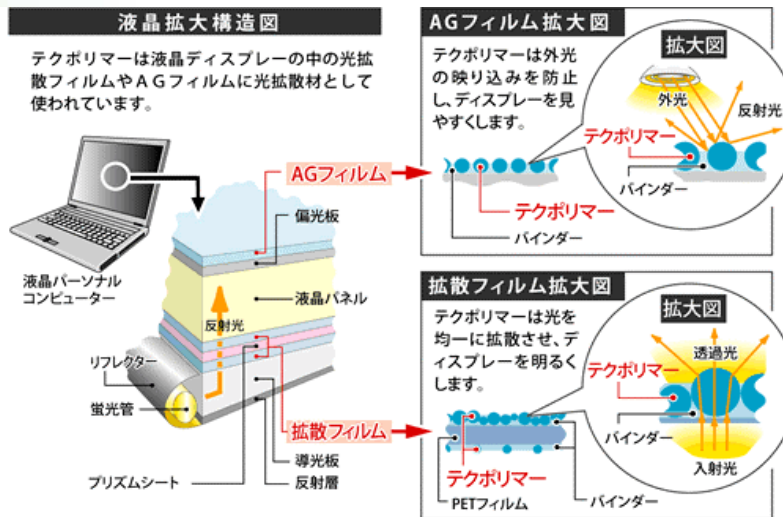
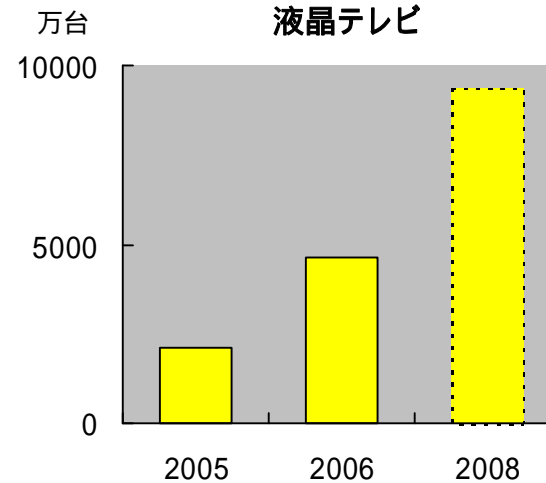
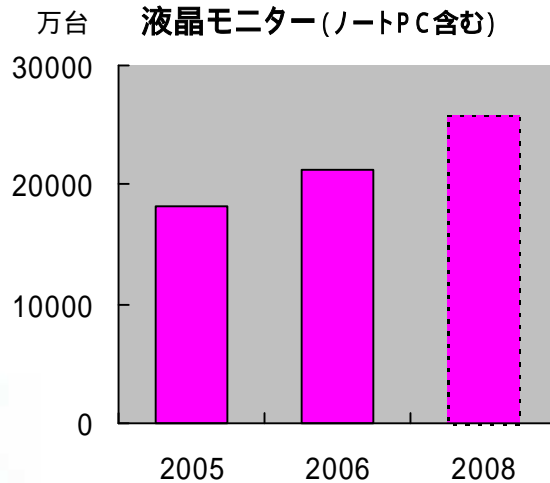
パソコンやテレビの液晶ディスプレイ、リアプロジェクションテレビのスクリーンに使用。球状粒子の持つ、均一な光拡散効果でディスプレイ全体を明るくしたり、ディスプレイを見やすくしたりするのに役立っています。



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

世界市場環境予測

出所: ディスプレイリサーチ



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

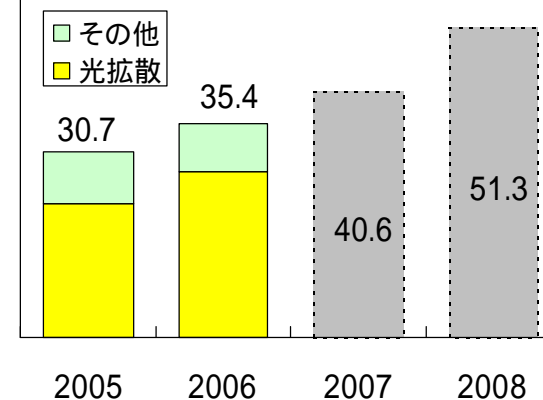
【2006年度の成果】

液晶向けは在庫調整の影響受けるも、市場の伸びキャッチアップ
リアプロ向けは需要減退で減少

【今後の取り組み】

液晶分野の市場拡大に対応したグローバル拡販
新規分野の開拓と実績化
(電子ペーパー等新ディスプレイなど)
生産能力・効率アップと品質向上

テクポリマー売上高
(億円)



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

テクノゲル

当社独自技術による導電性ハイドロゲル

低周波治療器用パッド



心電図用電極



各種パック材



電気メス用対極板



美容機器用パッド



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

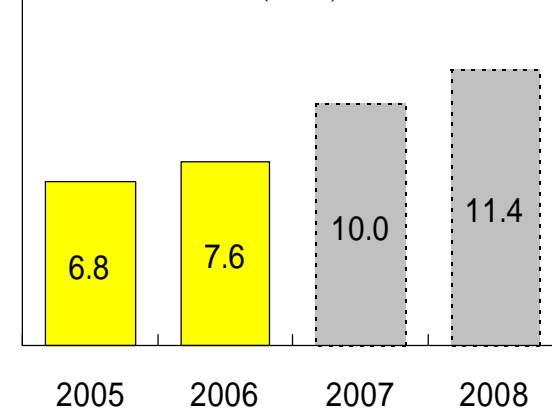
【2006年度の成果】

低周波治療器用パッド、心電図用電極、電気メス用対極板が順調に拡大
化粧品用パック材は受注の端境期でやや減少

【今後の取り組み】

ゲルシート素材のグローバル拡販
電極用途の品種拡大
新規用途の開拓と実績化
生体粘着材(創傷被覆)
工業用粘着材(静電気除去、防蝕)

テクノゲル売上高
(億円)



【DASH50 Stage】既存事業の競争力強化

事業環境に左右されない収益構造の確立

- ・原燃料価格上昇に対する製品価格への的確な対応
- ・生産部門のコスト競争力強化

【樹脂事業】

- ・関係会社のコスト競争力強化
(省エネ成形・現場力強化)
- ・地域別戦略の推進

【シート事業】

- ・ラミネート品の採算改善
- ・機能性シートの開発促進
(吸水シート、HDPEシートなど)

【建材事業】

- ・生産・販売・物流体制の合理化推進
(住宅・住設メーカーへの直販拡大)



【DASH50 Stage】既存事業の競争力強化

関係会社の採算改善

【2006年度の成果】

樹脂事業関連：原燃料価格転嫁は地域によってバラツキ

シート事業関連：流通業界競争激化で収益悪化

建材事業関連：合理化徹底により採算改善

重点会社への化成品支援強化(専任部署設立)

燃料原単位改善の取り組み徹底(改善効果 前年対比47百万円)

【今後の取り組み】

樹脂事業関連：重点会社の競争力強化推進

シート事業関連：発泡ポリプロピレンシート品、納豆容器等
差別化製品の拡販

建材事業関連：生産体制リニューアル化による合理化促進

積水化成品グループ商材拡販の推進

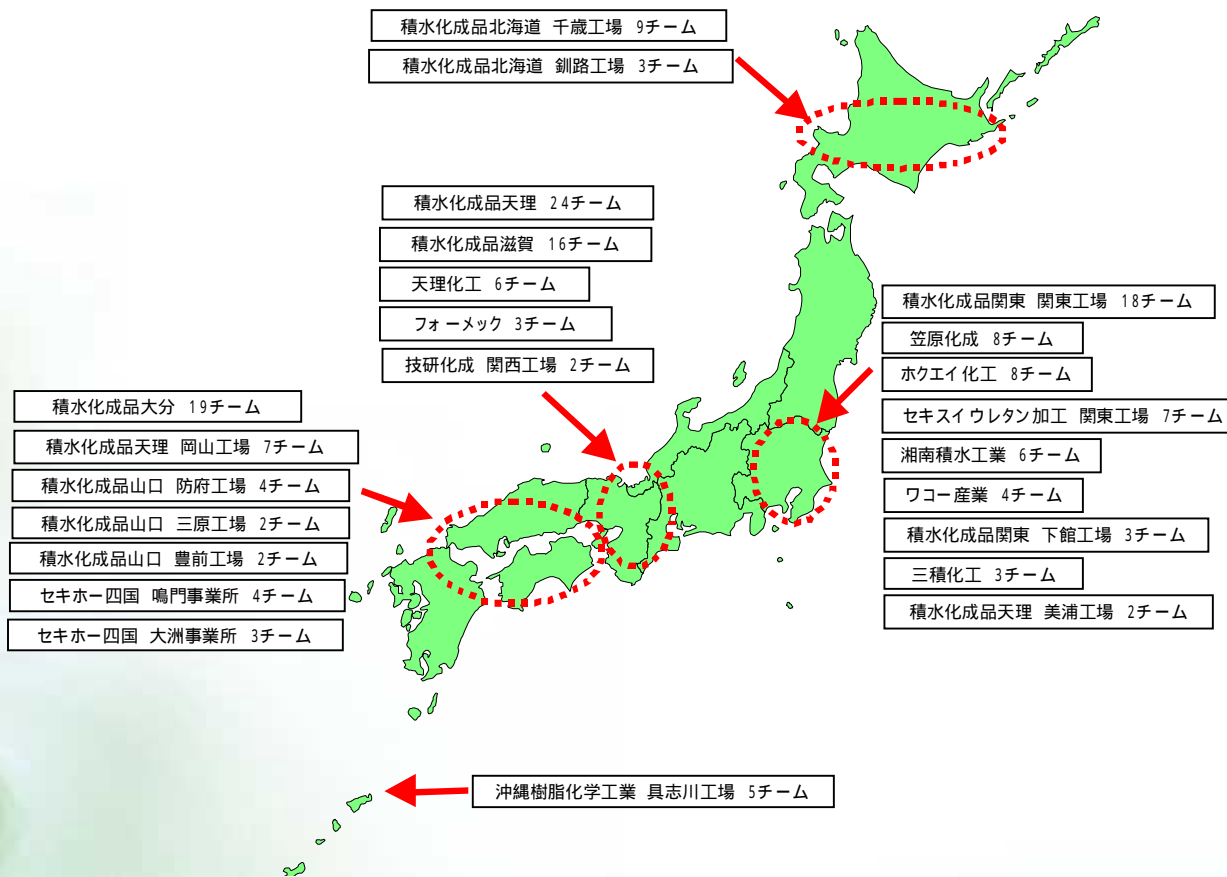
SKG改善活動による現場力強化

【DASH50 Stage】既存事業の競争力強化

SKG改善活動

...積水(S)化成品(K)グループ(G)が一体となって行う改善活動

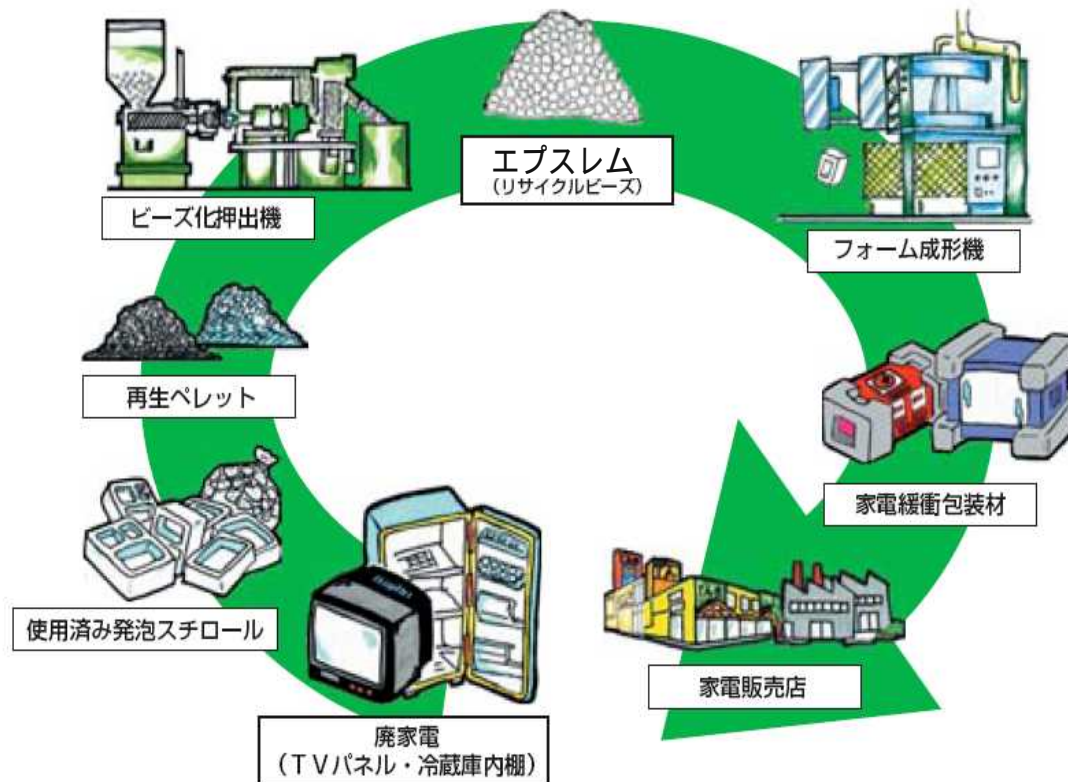
製造現場の人材育成と製造現場力の向上 「コスト・品質競争力」の構築
 全国24事業所、168チームで展開中



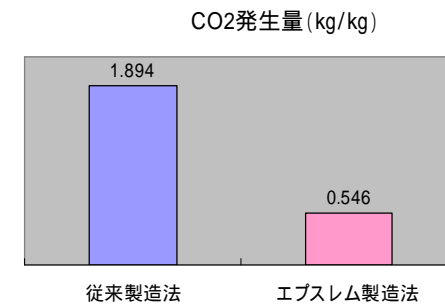
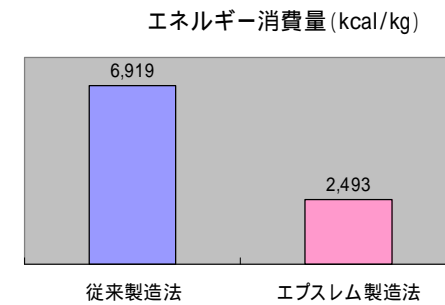
【DASH50 Stage】環境対応事業の拡大

リサイクルビーズの拡販

家電リサイクル法強化に応じたクローズドリサイクルシステムの構築



従来製造法に比べ
環境負荷が大幅に低減



【DASH50 Stage】環境対応事業の拡大

【2006年度の成果】

シャープの大型液晶テレビ梱包材が特に年末需要
向け大幅増加

事業としての採算ベースを確立

シャープ環境広告で「エプスレム」が紹介される
(ジャパン～アジア～ワールドスター賞受賞)



【今後の取り組み】

大型液晶テレビ需要拡大に対応した生産
体制増強

2006年度 2,000ト/年

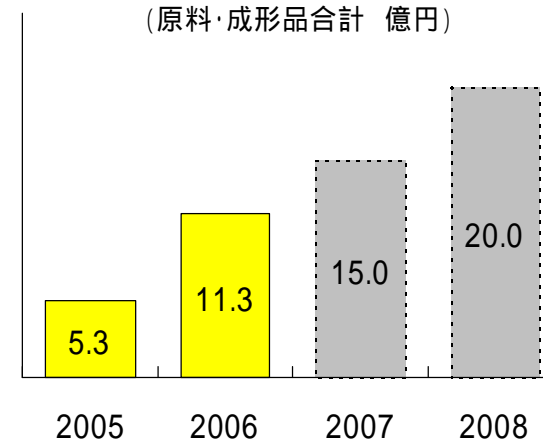
2007年度 3,600ト/年に設備増強

2011年度(地上デジタル放送完全移行)

6,000ト/年体制へ

液晶テレビ以外の用途拡大(冷蔵庫、エア
コン、OA機器等)

エプスレム売上高
(原料・成形品合計 億円)



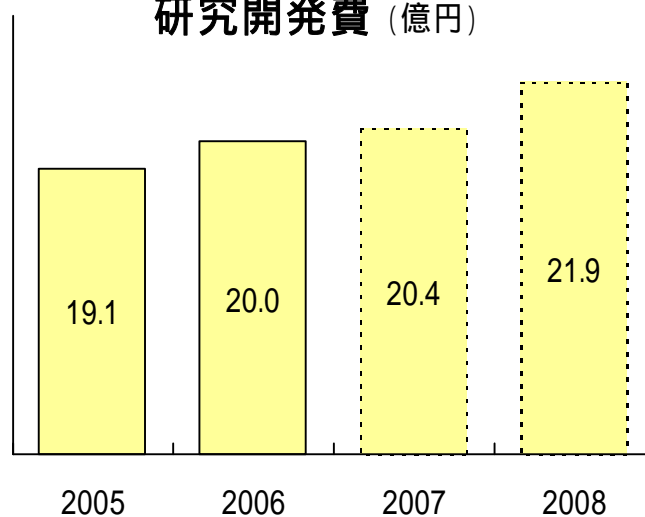
【DASH50 Stage】新事業の育成と立ち上げ

ポストDASH - 50に向けた新事業の育成と立ち上げ
全社横断的な研究開発体制による新事業の具現化
総合研究所の体制強化による新製品の早期上市

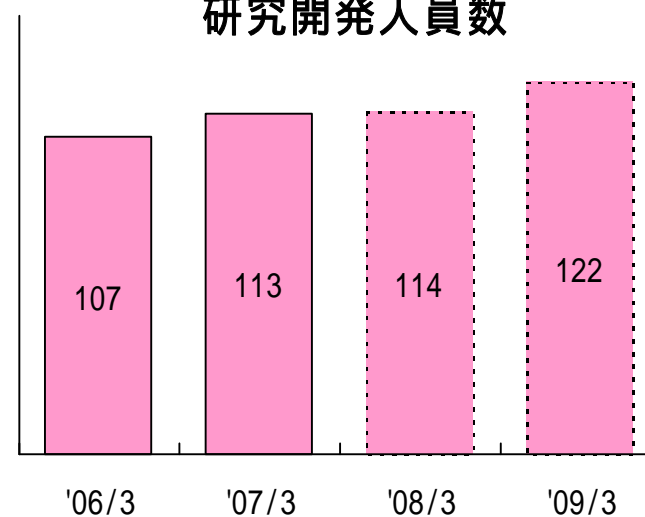


新事業スピード展開のための推進体制再編

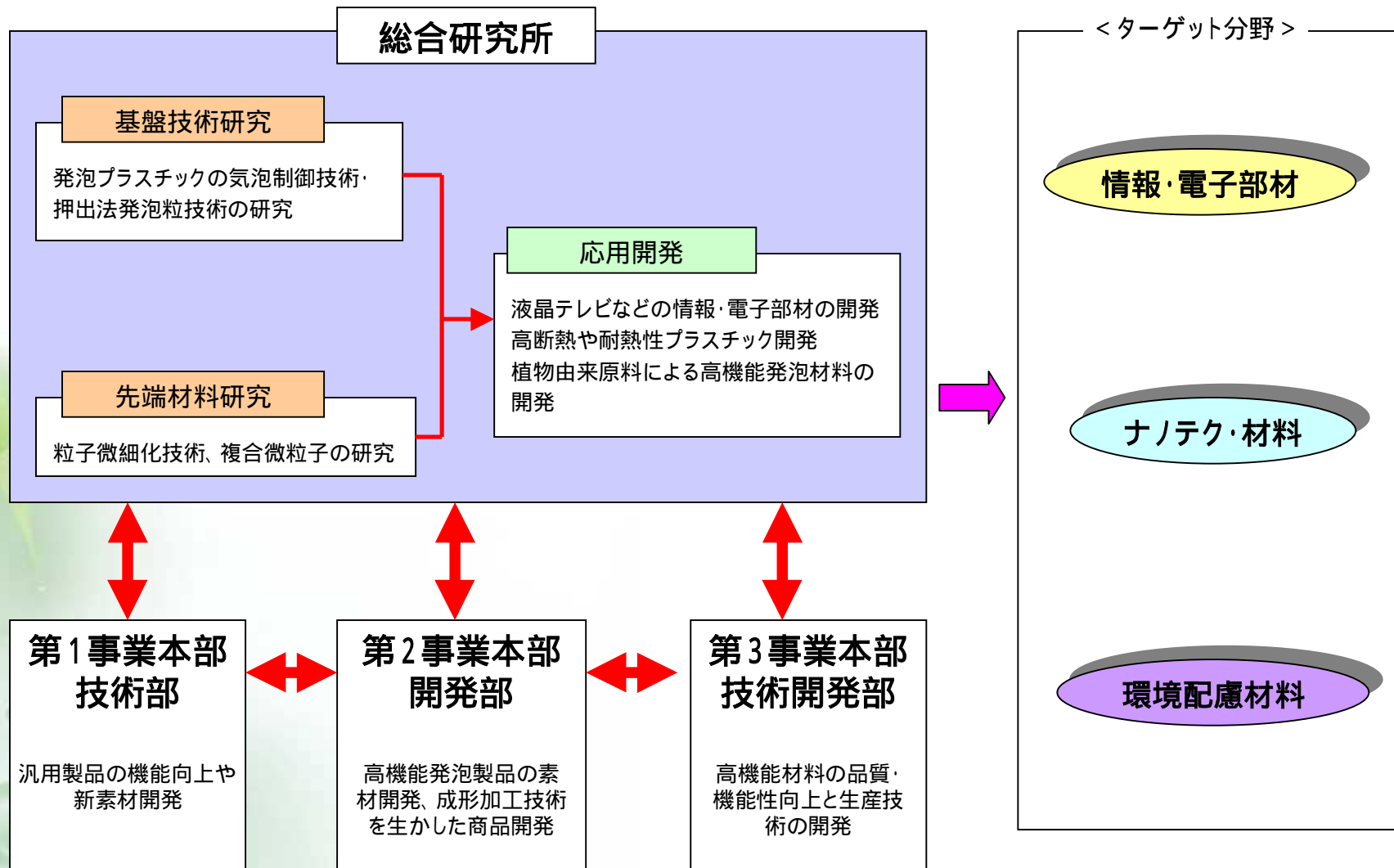
研究開発費 (億円)



研究開発人員数



【DASH50 Stage】新事業の育成と立ち上げ



2007年度計画概要

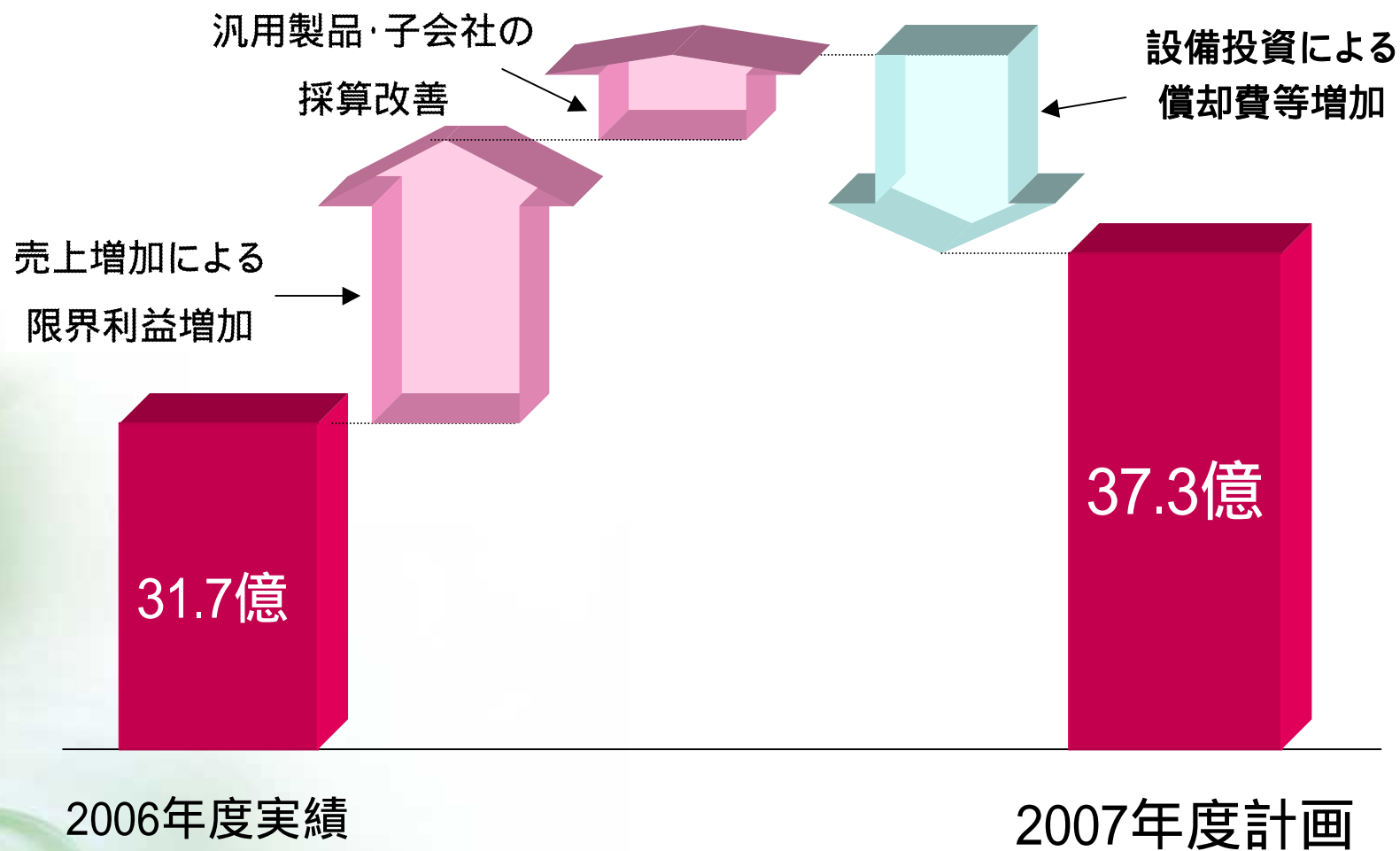
単位:百万円

	2006年度	2007年度	増減率
売上高	94,896	99,500	+4.9%
営業利益	3,174	3,730	+17.5%
経常利益	2,924	3,530	+20.7%
当期純利益	1,868	2,030	+8.6%

	2006年度	2007年度
総資産	94,869	101,000
純資産	48,186	48,590
設備投資	4,293	5,104
減価償却費	3,720	4,271

< 主な設備投資 >
・ピオセラン欧州工場
建設 など

2007年度営業利益増減要因



2007年度セグメント計画概要

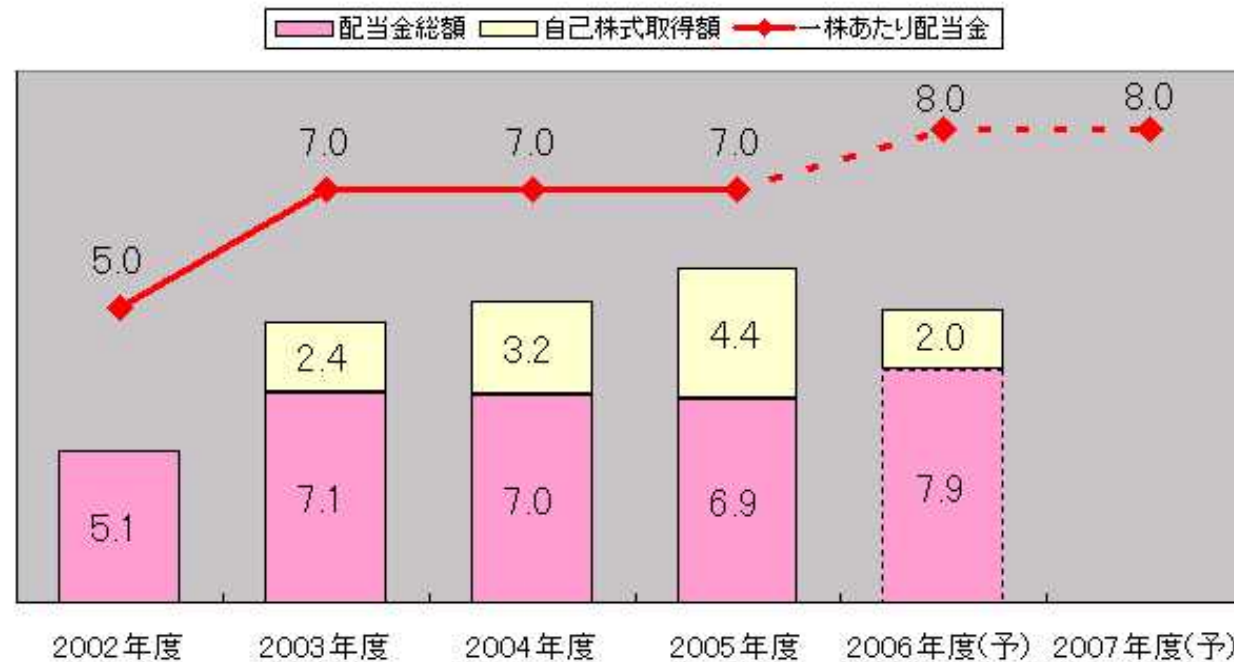
単位:億円

		2005年度	2006年度	2007年度
樹脂事業	売上高	325.5	375.8	406.0
	営業利益	14.2	17.3	18.4
シート事業	売上高	420.7	425.9	442.0
	営業利益	17.4	15.5	17.2
建材事業	売上高	96.1	99.9	101.0
	営業利益	2.4	2.0	0.9
その他事業	売上高	50.3	47.3	46.0
	営業利益	0.8	1.0	0.8

2007年度より全社費用配賦額を変更

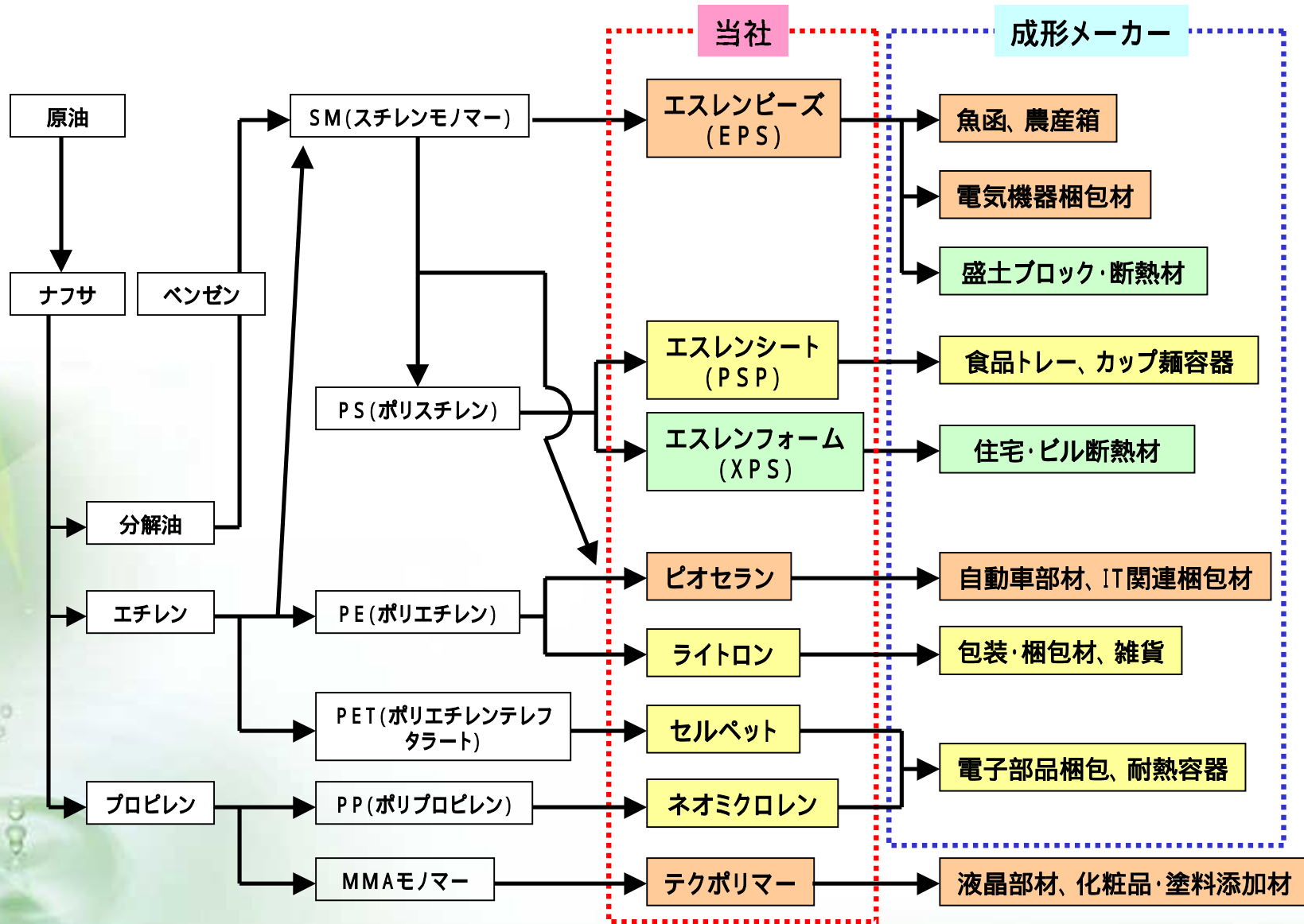
積極的な株主還元への推進

利益配当方針 連結業績の動向に応じ、かつ配当の安定性を勘案する
 自己株式の取得・消却 弾力的な実施検討を継続する



連結配当性向	31.0%	50.5%	43.8%	39.5%	42.3%
連結総還元性向	31.0%	66.1%	62.7%	63.2%	50.3%
配当利回り (期末株価ベース)	2.6%	2.5%	1.7%	1.5%	1.9%

(参考資料) 当社の製品と用途



内容に関するお問合せは...

経営企画部(IR) (03)3347-9618 までお願いいたします。

当社のホームページもあわせてご覧ください。

アドレスは <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。

したがって、実際の業績は、さまざまな重要な要素の変化により異なる結果になりうることをご承知おきください。